おおぐち宣伝部プロデュース

大口町社長さん Vol.37 リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介する企画です。



オリーブ　バレエ　クラス
OLIVE BALLET CLASS
代表 武田麻里さん

オリーブ
「OLIVE」は、講師を目指す時期にアルバイト先で食べた思い出の味、オイル漬けオリーブとラッキーカラーのグリーンから

Profile

1976年（昭和51年）生まれ
趣味：みんなで楽しくお酒をのむことが大好きです。

設立　2003年 OLIVE BALLET CLASS
　2006年スタジオ竣工
所在地　大口町余野三丁目212番地1
TEL　090-3830-9775

お仕事の内容を教えてください

クラシックバレエ、トレーニングクラスの指導、発表会の企画制作、オリジナル脚本の創作作品制作、イベント、コンクールの指導、バレエ用品の仕入れ、販売をおこなっています。

令和4年にエイジレスバレエストレッチの認定講師免許を取りました。幅広い方に踊る楽しさを感じられる機会を作りたいと考えています。





代表の歴史

6歳からバレエを始めて、10歳でバレエの先生になろうと決めました。通っていたバレエ教室の先生のアシスタントを15歳からしていましたが、18歳で進路を考える時に、安定していないバレエ講師の仕事を続けるために、先生のすすめで医療秘書事務の資格の勉強とアルバイトをしながら講師を目指しました。今思えば良い人との出会いや勉強ができた時期だったと思います。

大切にしていること

指導にあたっては「解剖学的アプローチ」を大切にしています。

アスリート的な要素が強いバレエの世界では、ケガでやめていく人も多くいます。プロを目指すような人でなくても、体の構造を知った上で指導をすることが長く続けるためには大切で、今ではバレエを教えるには解剖学を学ぶことが必要という考え方が主流になってきています。進化し続ける学問なので、常に新しい知識を勉強するようにしています。

教室の自慢話

教室を開設した当初から24年間にわたって通い続けてくださっている方がいることは、私にとって大きな喜びです。また、親から子、そして孫へと、3世代にわたって通ってくださる方もいらっしゃいます。一度バレエから離れた方が、人生のステージが変わったときに再び教室に戻ってきてくださることも、とてもうれしいことです。さらに、この教室で学んだことが、社会に出てからも役に立っているといっていただけることは、私の誇りでもあります。

教室のスター

この夏開催された第25回発表会に出演してくれた方たちです。一番多い方で22回出場しています。



代表からひとこと

バレエを「選ばれしものの芸術」として教えるだけでなく、「踊るって楽しい」という気持ちを大切にしたいと考えています。